

ショットボタン・スチームボタン

ショットボタン
ショットボタンを押すと強力なショットスチームが出ます。
(必ず温度調節ダイヤルを「高」にして、ご使用ください。)

スチームボタン
スチームボタンを押すごとにドライ設定とスチーム設定に切り替わります。
(必ず温度調節ダイヤルを「高」にして、ご使用ください。)

ドライ設定

スチーム設定

スチームボタンを押し下げるとスチーム設定に、押し上げるとドライ設定になります。

加熱ランプ

- スタンドに置いているとき点灯・消灯することにより、かけ面の温度コントロールをしていることを知らせます。
- スタンドから外しているとき消灯します。

ダイヤル部

目盛合わせ位置

温度調節ダイヤル

電源コード

電源プラグ

ハンドル

注水口ふた

注水口

かけ面

アイロン

ロックボタン

繊維案内表示

スタンド

接続部

〈スタンド〉 スタンド面 〈アイロン〉

接点部

接続ピン

タンク

タンクに水を入れるときは、スチームボタンがドライ設定になっていることを確認してから、タンクの取付け・取りはずしをしてください。スチーム設定にしていると水がもれます。

〈取りはずしかた〉

〈取付けかた〉

ロックボタン

「カチン」と音がするまで押し込みます。

カチン

①ロックボタンを押しながら②タンクを引いてはずします。

初めて使用する際のタンク内部の水滴について

タンク内部に水滴がついている場合があります。検査をしてお届けしているためで、異常ではありません。

満水目盛

満水

スチーム噴出穴(8ヶ所)

先端部のくぼみには噴出穴はありません。

かけ面(フッ素樹脂加工)

フッ素樹脂加工は長く使用すると磨耗して、こびりつき防止の効果はうすれますが、そのまま使えます。

5

6

コードレスアイロンについて

給電について

アイロンをスタンドに置くと、ヒーターが通電してアイロンのかけ面に熱を蓄え、かけるときにその余熱を利用します。アイロンかけ中はかけ面の温度が徐々に下がりますので、「衣類を整えているとき」「衣類を整えていないとき」などアイロンを使用していないときは、必ずアイロンをスタンドに戻し給電しながら使用してください。

アイロンの接続ピンをスタンドの接点へ、まっすぐに止まるまで戻す

お願い

- アイロンをスタンドに戻すときは、逆方向や横方向に置かないでください。接点部が変形して通電しなくなります。
- アイロンをスタンドに戻したとき、スチームがしばらく出つづけることがあります。異常ではありません。
- アイロンをスタンドに戻したときに、加熱ランプが点灯した場合、消灯するまでお待ちください。

水もれ防止機能について

かけ面の温度が下がると水もれ防止弁が作動し、スチームが止まります。

お願い

作動するとき内部で「カチン」と音がしますが、異常ではありません。

お願い

- 使用中、内部で「カチ、カチ」音がある場合がありますが、自動温度調節器(サーモスタット)や水もれ防止弁が動作している音で異常ではありません。
- アイロンを振ったときに「カタカタ」音がしますが、弁などが動く音で異常ではありません。
- スチーム(特にショットスチーム)噴出時に白い粉が出る場合がありますが、水に含まれる鉱物質などが出るもので異常ではありません。白い粉が衣類についた場合は、払っていただく と取れます。
- アイロンをスタンドに「置くとき」または「はずすとき」にスタンドの接点部よりスパーク(火花)が発生することがありますが、異常ではありません。
- 洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンかけをしてください。

使いかた

1. タンクに水を入れます。

(ドライアイロンとしてお使いになるときは、タンクに水を入れなくてもお使いいただけます。)

① スチームボタンをドライ設定にし、タンクをはずします。(6ページをご覧ください。)

② 満水目盛まで上水道の水を入れます。
(ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。)

③ タンクのまわりについた水滴をふき取ります。

④ 注水口ふたをしっかりと確実に閉じてから、タンクをアイロンに取付けます。
(6ページをご覧ください。)

上水道の水以外は入れない

注水口ふたを十分に開く

タンクを立てて満水目盛まで

満水

7

使いかた(つづき)

2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

切

① 温度調節ダイヤルを「切」にします。

② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

3. 温度調節ダイヤルを回して、温度を設定します。

温度調節ダイヤルを使用したい温度に合わせると、加熱ランプが点灯します。

- 温度調節ダイヤルが「切」の場合は、加熱ランプは点灯しません。

ドライアイロンにするとき

繊維に適した温度に合わせる

衣類に絵表示があるときは、絵表示に従って合わせ、ないときはスタンド部の繊維案内表示を参考にしてください。

スチームアイロンにするとき

必ず「高」に合わせる

「高」以外に設定すると、スチームが弱すぎたり、出ないことがあります。

ショットスチームを使用するとき

必ず「高」に合わせる

「高」以外に設定すると、水もれしたり、ショットスチームが出ないことがあります。

お願い

初めて通電したとき、多少のにおいや煙が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用にとまれない出なくなります。

⚠注意

温度調節ダイヤル「高」より低い温度に合せてスチームボタンやショットボタンを押すとスチームに湯滴がまじります。

8

使いかた(つづき)

4. 使用します。 加熱ランプが消灯すると使えます。

- アイロンをスタンドからはずしたときは、加熱ランプは消えます。

ドライ

スチームボタンをドライ設定にします。

● 温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合は、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してからご使用ください。

スチーム

麻・綿の布地に。毛製品をふっくら仕上げるときに。アイロンを水平にし、スチーム設定にします。

- 使いはじめは、スチームが出るまで少し時間がかかります。
- 設定温度「高」で連続してスチームアイロンがけができる時間は、使用条件により異なりますが約1分前後です。スチームが止まったときは、アイロンをスタンドに戻して給電してください。
- 「高」以外の繊維にスチームをかける場合は必ず浮かせてかけてください。

ショットスチーム

がんこなシワを取ったり、毛製品をふっくら仕上げるときに。アイロンを水平にし、約2〜5秒間隔でショットボタンを操作します。

△ ショットボタンを2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。

- かけ面を衣類からはなして(10cm程度)、目立たない所でためしがけをしてからお使いください。(特にカシミア等の起毛性衣類)

ショットボタンは、ドライ設定/スチーム設定のどちらでもご使用できます。

お願い

- ショットスチーム使用中にショットボタンを押すと「キュー・キュー」と音がしますが、異常ではありません。
- ショットスチームの勢いが弱くなってきたときは、アイロンをスタンドに戻して給電してください。

9

ショットスチームが出にくいとき

- 使いはじめ … ショットボタンを2〜3回操作してください。
- 使用中 … 給電してください。
- タンクの水が少なくなったとき … 満水目盛まで水を入れてください。

⚠注意

- かけ面の温度が上がらないうち(通電開始から約1分20秒以内)や、温度調節ダイヤルを、「高」より低い温度に設定したとき、またショットボタンを連続で押してスチームを出しますと、スチーム噴出穴から湯滴が出ますのでご注意ください。
- アイロンを横や逆さまにしないでください。水もれしたり、熱湯でやけどすることがあります。
- スチームアイロンとして使用するとアイロンやタンクの表面に水滴が付着することがあります。これはスチームが結露したものです。水滴が多いときはふき取ってください。

5. 使用後は

1. 電源を切ります。

切

① 温度調節ダイヤルを「切」にします。

② 電源プラグをコンセントから抜きます。

2. 水を捨てます。

スチームボタンをドライ設定にする

タンクに水が残っているときは、かけ面内部の腐食防止のため必ず水を捨ててください。

① スチームボタンをドライ設定にしてタンクをはずします。(6ページをご覧ください。)

② 注水口ふたを開け、水を捨てます。

10

アイロンかけのコツ…洗たくものが乾いてからアイロンをかけましょう。

アイロンの持ちかた

片方の手でぬい目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら両手を上手に使いましょう。

軽くすべらせる

しっかり押さえる

軽く浮かせる

もどりジワを防ぐため一方に軽くかけるのがコツです。

がんこなシワ、厚手の布地の折り目つけなどは、しっかり押さえます。

毛足の長い繊維やにおいとりは軽く浮かせてスチームをあてます。

ワンポイントアドバイス

〈スチームが下へよく通るアイロン台を使いましょう。〉

- スチームが布地の中まで入り、仕上がりがよくなります。

△ アイロン台を通過するスチームに注意してください。やけどの恐れがあります。

〈アイロンかけは順序よく〉

スチーム

ドライ

小物

- 低い温度のものから高い温度のものへ順番に布地に合った温度でかけます。

● スチームを先に、小物は余熱でかけます。

● 低い温度のものをから高い温度のものへ順番に布地に合った温度でかけます。

アイロンかけの前に衣類を分類しておけば能率的です。

- 高い温度から低い温度に設定すると、低い温度になるまで十数分かかる場合があります。

綿や麻などには霧吹きをしましょう

霧をかけてからドライ設定でアイロンをかけるときれいに仕上がります。

かけ面に衣類がからみつくときは

静電気が発生していますので、衣類の端まですべらせてからアイロンを持ち上げます。

スプレーのり等の仕上げ剤を使うときは

成分にシリコーンが配合されたものをお使いください。衣類にスプレーしてからひと呼吸おき、のりを衣類になじませてからかけると、アイロンがかけやすく効果的です。洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ずドライ設定でアイロンかけをします。

11

・少し固めに仕上げたいときは…

スプレーのり ➡ アイロンかけ(ドライ) を繰り返します。
(一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因になります。)

洗たくのり付けをした生乾きの衣類には

必ずドライ設定でアイロンかけをしてください。

アップリケや接着芯などを接着するときは

必ず「あて布」をして、アイロンかけをしてください。
説明書が添付されているときは、それに従ってください。

かけ面にのり成分が付着した場合は、その都度お手入れをしてください。(12ページをご覧ください。)

- のりが付着したままお使いになると、かけ面にこびりついて、とれにくくなります。また、そのままぬれた布にアイロンかけをすると、色移りする場合があります。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、製品が冷めてからお手入れをしてください。

アイロンやスタンドの汚れ

水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸し、よくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとってください。

かけ面の汚れ

スプレーのりを使った後は、その都度ぬれた布でふいてください。

接続ピンの汚れ

乾いた布でふいてください。

スチーム噴出穴のつまり

- つまようじなどでゴミをとりのぞき、ぬれた布でふいてください。
- ご不用の布地の上で数回ショットスチームを噴出してください。

⚠禁止

- 製品に水をかけないでください。
- 故障や感電事故の原因になります。

シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類、アルカリ性洗剤では絶対にふかないでください。

アイロンのかけ面は金属ブラシやみがき粉、塩素系漂白剤でみがかないでください。かけ面がいたみます。

12